



町長エッセイ



日本中、世界中が新型コロナウイルス禍の中、東京オリンピック、パラリンピックは開催が1年程度延期され、センバツ高校野球も初の中止となり、その影響は計り知れません。

町でも、町が管理する施設は、休止を余儀無くされた3月でした。

町の小中学校の卒業式は通常であれば、涙あり、笑いありの祝賀ムードに包まれますが、今年は諸事自粛要請の下、先生方、卒業生そして保護者は一家庭一人出席の式となりました。特別な状況の中でのことですが、時が経つことにより、それは思い出の一つとして、胸に刻まれることでしょう。

そのさ中、角山写真愛好会は、今回で20回目となる写真展を、角山中区集会所で催しました。流石に歴史を感じる力作揃いで、元より写真好きの私は感動するばかりでした。

子どもの頃、貯めた小遣いで初めて買った写真機「エボニー35」、定焦点、定絞り、定シャッターですが、不思議とよく写りました。今のデジカメとは異なり、白黒のプリントが手元に届くまで、どんな写真ができるのかなァとワクワクする楽しみがあったのです。

松本恒夫